

賀詞交歓会における表彰

1月5日(月)、賀詞交歓会を農村環境改善センターで開催し、市政の発展に貢献された方々の表彰式を併せて行いました。被表彰者は次のとおりです。(敬称略)

問合せ

総務課 ☎(81) 1111

一般表彰



上原 道由

中井町教育委員会委員として2期8年在職し、学校教育および社会教育の振興に貢献されました。



小澤 重之

中井町人権擁護委員として5期15年にわたり務められ、中井町人権擁護委員会の常務を6年在職し、人権相談活動や地域での人権尊重の考えを広めるための活動により、人権擁護・人権思想の普及高揚に貢献されました。



村山 真由美

中井町民生委員児童委員として3期9年在職し、地域の見守り役、相談役として福祉活動にご尽力され、地域福祉の向上に貢献されました。



豊川 重美

中井町交通指導隊に14年6か月在職し、道路交通の安全と交通道德の普及高揚に貢献されました。

さがみ信用金庫 理事長 遠藤 康弘

一般寄付金として金100万円を寄付し町の振興に寄与されました。

功労表彰



岩本 明人

中井町教育委員会教育長として3期10年6月在職され、教育行政の発展に貢献されました。

感謝状

明治安田生命保険相互会社平塚支社

支社長 大井 浩嗣(一般寄付金)

ちようちよう発し

その26

「光るとき」

「はたちのつどい」で、ある曲の歌詞を引用しながら祝辞を述べました。これからの時代に生きる若い方たちへのエールとして再掲します。歌詞は、歌詞検索サイトでご覧ください。

私の二十歳は、昭和から平成へと変わるバブル経済の絶頂期でした。しかし、中高生という多感な時期にコロナ禍を経験した皆さんは、より切実に「先が見えない世界」を感じていると思います。

一方で、困難な時代だからこそ、大事なものが見えてきたとも感じます。私は、若い世代の音楽に教えられることが多く、その中でも、今、最も共感し、口ずさんでは励まされる曲、羊文学の『光るとき』(塩塚モ工力作詞・作曲)を皆さんに贈りたいと思います。

この曲は、2023年のアニメ『平家物語』の主題歌ですが、平家物語の無常観を超えたメッセージが込められています。特に「世界は美しい、それは自分があきらめないから」というあり方に示されています。不安定な世界の中に「美しさ」や「よさ」を見出せるのは、自分自身の意志に委ねられていると歌います。



不安定な世界を「荒野」に例えています。そこを「コーリング」と進む中で、悩み戸惑うときがある。その

時は「コーリング」に耳を澄まそうと対比されます。

これから仕事に就く、あるいはすでに働かれている皆さんへ、英語で職業を指す言葉には「ジョブ」や「オキュペーション」がありますが、この「コーリング」は「天職(ボケリング)」と深く結びついています。仕事を探求中で、それぞれの「コーリング」と出会ってほしいと願います。

でも自分の役目が分からなくても焦る必要はありません。この曲では花にたとえ「そのまま咲く」だけでいいと言い切ります。側で見守ってきた人は必ず分かっていると歌います。皆さんを育み、歩みをずっと見守ってこられたご家族、今日再会した友人や先生方、そして私たち地域の者は知っています。皆さんは、すでにこの中井町の希望であり、「光」そのものです。

歌の終わりで、意志が世界を美しくするように、世界は奇跡で満ちあふれていると歌います。荒野は実は「光」であり、そこを生きることが「光るとき」だと。

光の中を駆け続ける皆さんを応援しています。本日は、誠におめでとございます。